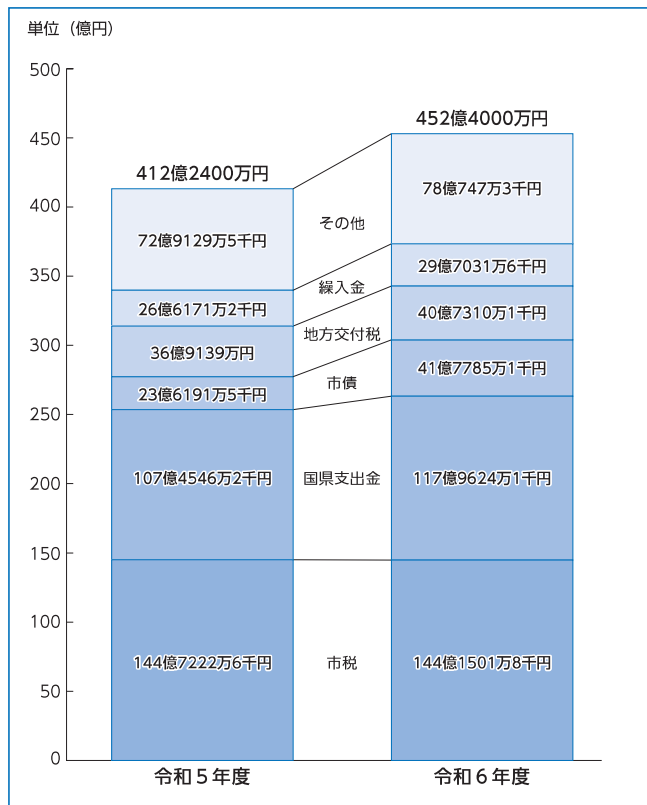


# 令和6年度の予算がまとまりました

## 一般会計

一般会計の予算額は、452億4000万円（前年度比9.7%、40億1600万円の増）で、過去最大となりました。



### 歳入

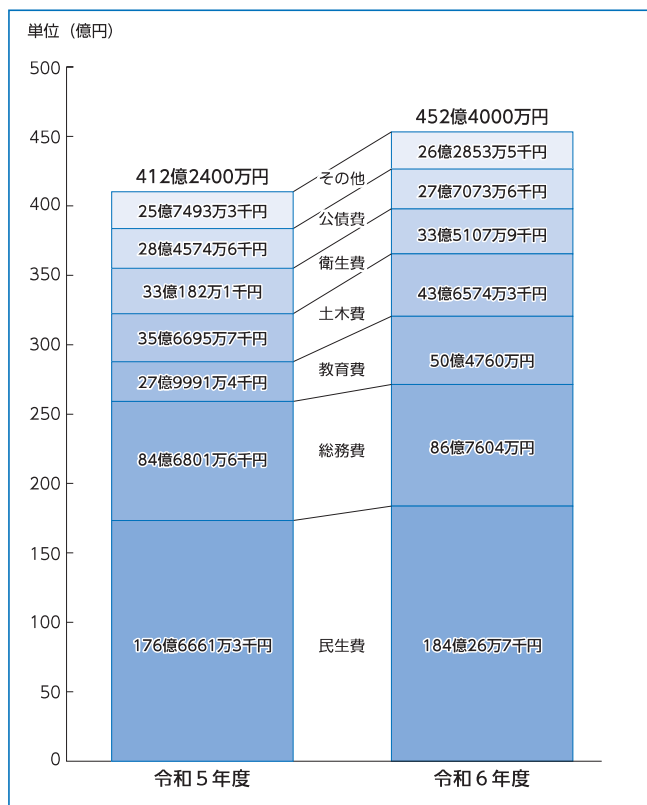
市税は、雇用・所得環境が改善傾向にあるものの、令和6年度税制改正における定額減税の実施（影響額：約4億6500万円減）により前年度と比べて約5700万円の減となっています。（減収分は、国が交付金で全額補填）

国県支出金は、都市計画事業費補助金などが減少したものの、街路事業費補助金や児童手当負担金などが増加したことから、前年度と比べて約10億5000万円の増となっています。

市債は、防災基盤整備事業債や史跡買上事業債が増加したことから、前年度と比べて約18億2000万円の増となっています。

地方交付税は、国の地方財政計画から増加を見込んでおり、前年度と比べて約3億8000万円の増となっています。

繰入金は、連続立体交差事業等整備基金繰入金や公共施設整備基金繰入金が増加したことなどから、前年度と比べて約3億円の増となっています。



### 歳出

民生費は、国民健康保険特別会計繰入金などが減少したものの、児童手当費などが増加したことから、前年度と比べて約7億3000万円の増となっています。

総務費は、ふるさと納税推進事業費などが減少したものの、コミュニティセンター施設整備費などが増加したことから、前年度と比べて約2億円の増となっています。

教育費は、小学校施設整備費や史跡買上費などが増加したことから、前年度と比べて約22億5000万円の増となっています。

土木費は、下大利駅東土地区画整理事業費などが減少したものの、街路整備費などが増加したことから、前年度と比べて約8億円の増となっています。

衛生費は、すこやか交流プラザ運営費などが減少したものの、環境政策推進費などが増加したことから、前年度と比べて約5000万円の増となっています。

公債費は、償還元金の減少により、前年度と比べて約8000万円の減となっています。